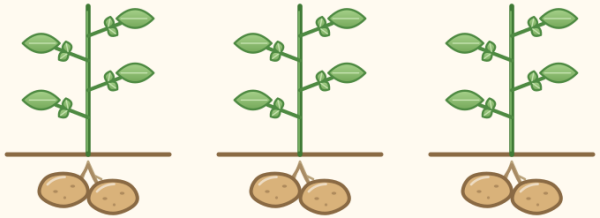
ジャガイモのいもと種子で比べる2つのふえ方

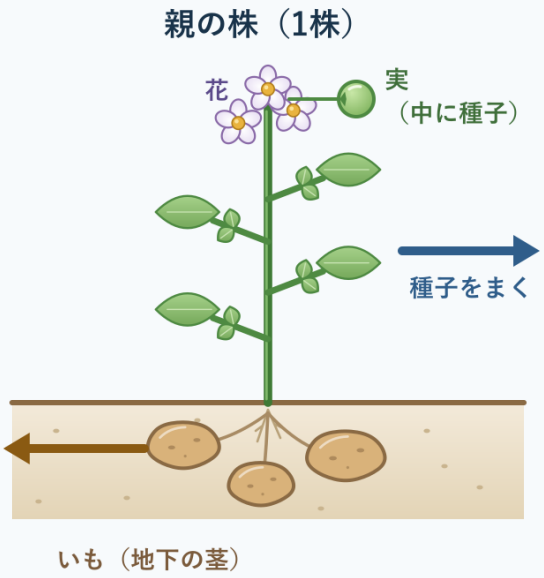
同じジャガイモから、いもで育てた子と種子で育てた子では、何が違うのだろう

A いもを植える：栄養生殖（無性生殖）



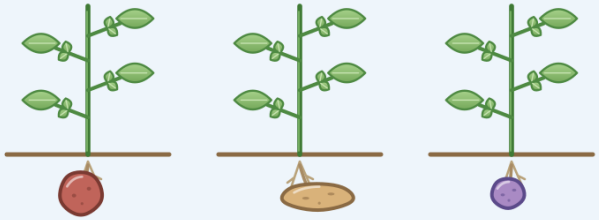
子のいも：どれも親と同じ形・色

子は親と同じ遺伝子をもつ
→ 形や性質がそろう



B 種子をまく：有性生殖

花が受粉し、実の中に種子ができる（別の株の花粉の例）



子のいも：形や色が少しずつ違う

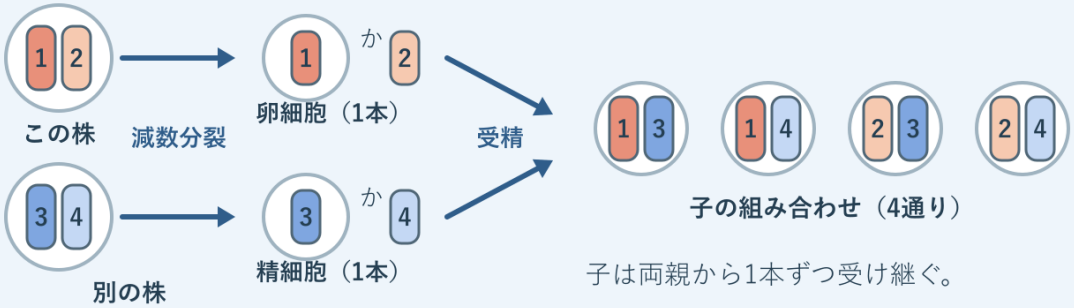
両親から遺伝子を半分ずつ受け継ぐ
→ 形や性質が子によって違う

A の染色体の受け継ぎ方



子は親と同じ染色体を受け継ぐ。

B の染色体の受け継ぎ方



子は両親から1本ずつ受け継ぐ。

※ 模式図。染色体は1対だけを番号で示した。いもの形や色の違いは例。ジャガイモは種子ができにくい品種も多い。